

東洋史専攻分野

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
東洋古代中世史特論Ⅰ	六朝時代の諸問題	2	川合 安	1学期	金	2	1
東洋古代中世史特論Ⅱ	隋唐時代の諸問題	2	川合 安	2学期	金	2	2
東洋古代中世史研究演習Ⅰ	『宋書』礼志の研究Ⅰ	2	川合 安	1学期	金	5	3
東洋古代中世史研究演習Ⅱ	『宋書』礼志の研究Ⅱ	2	川合 安	2学期	金	5	4
東洋近世史特論Ⅰ	中国近世史の諸問題 Ⅰ	2	大野 晃嗣	1学期	火	5	5
東洋近世史特論Ⅱ	中国近世史の諸問題 Ⅱ	2	大野 晃嗣	2学期	火	5	6
東洋近世史特論Ⅲ	清朝のモンゴル統治	2	岡 洋樹	1学期	水	4	7
東洋近世史特論Ⅳ	明清時代の諸問題	2	井上 徹	集中(2学期)			8
東洋近世史特論Ⅳ	唐宋時代の法と刑罰	2	徳永 洋介	集中(2学期)			9
東洋近世史研究演習Ⅰ	明清官僚制度研究Ⅰ	2	大野 晃嗣	1学期	水	5	10
東洋近世史研究演習Ⅱ	明清官僚制度研究Ⅱ	2	大野 晃嗣	2学期	水	5	11
課題研究 (東洋史)		4	川合 安 大野 晃嗣	通年	金	1	

科目名：東洋古代中世史特論 I / Ancient and Medieval History in Orient (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：川合 安（教授）

講義コード：LM15207， 科目ナンバリング：LHI-HIS639J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

六朝時代の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Subjects of The Six Dynasties Time

3. 授業の目的と概要：

中国の六朝時代（魏晋南北朝時代、220～589）は、秦漢古代帝国の崩壊をうけて、新たな国家秩序構築の模索が行われた時代であった。講義では、この時代につくられた政治・社会体制—いわゆる「貴族制」の構造や実態について分析し、当時を生きた人々の社会的活動や思想などの具体相を浮かび上がらせることを試みる。この混沌と模索の時代を生きた人々の営みについて、自分なりに考えつつ、中国史における六朝時代の意味について理解を深めることを目的とする。

4. 学習の到達目標：

六朝時代の政治・社会体制の特質を理解し、興味をもった論点について、自分なりに調査して論じることができるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、ガイダンス、六朝時代の概略
- 2、秦漢古代帝国の概要
- 3、九品官人法の制定と魏の貴族制
- 4、西晋の貴族制
- 5、東晋の貴族制
- 6、五胡十六国における漢人士族
- 7、宋・齊の貴族制
- 8、梁の貴族制
- 9、陳の貴族制
- 10、北魏前期における漢人士族
- 11、北魏後期の貴族制
- 12、東魏・北齊の貴族制
- 13、西魏・北周の貴族制
- 14、隋・唐初の貴族制
- 15、総括

6. 成績評価方法：

小レポート（毎回の授業時に提出）30%、期末レポート 70%

7. 教科書および参考書：

教科書：資料を配布

参考書：川勝義雄『魏晋南北朝』（講談社「学術文庫」2003年）。ほかは、講義中に紹介する。

8. 授業時間外学習：

配布した資料に目を通し、理解できた点、理解できなかった点を整理しておく。理解できなかった点については、参考書等を参照して調査し、それでもわからない点については、授業時間中でも質問を受け付ける。また、授業時間外に質問してもよい。

9. その他：

科目名：東洋古代中世史特論Ⅱ／ Ancient and Medieval History in Orient (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：川合 安（教授）

講義コード：LM25207， 科目ナンバリング：LHI-HIS640J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

隋唐時代の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Subjects of Sui and Tang dynasties

3. 授業の目的と概要：

隋唐時代は、六朝時代の政治的分裂を克服して統一を回復した時代であったが、なお、多くの矛盾をかかえていた。このような隋唐時代政治史の諸問題について考察し、理解を深める。

4. 学習の到達目標：

隋唐時代の政治史の諸問題について、その概略を理解し、特に関心をもった問題について、関連の研究論文等の調査を進め、考察できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、ガイダンス、隋唐時代の概略
- 2、隋王朝の政治
- 3、貞観の治
- 4、隋唐帝国と高句麗
- 5、則天武後の時代
- 6、玄宗の開元時代
- 7、玄宗の天宝時代
- 8、安史の乱
- 9、安史の乱後の情勢
- 10、徳宗の時代
- 11、憲宗の時代
- 12、牛李の党争
- 13、宣宗の時代
- 14、黄巢の乱
- 15、総括

6. 成績評価方法：

小レポート（毎回の授業時に提出）30%、期末レポート70%

7. 教科書および参考書：

教科書：資料を配布する。

参考書：布目潮瀨・栗原益男『隋唐帝国』（講談社「学術文庫」、1997年）。その他、授業中に紹介する。

8. 授業時間外学習：

授業で配布した資料に目を通し、理解できた点、理解できなかった点を整理しておく。理解できなかった点については、参考書等で独力で調査し解決することを試み、それでも不明な点は、随時質問する。授業時間中に質問してもよい。

9. その他：

科目名：東洋古代中世史研究演習 I / Ancient and Medieval History in Orient (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：川合 安（教授）

講義コード：LM15503， 科目ナンバリング：LHI-HIS642J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

『宋書』礼志の研究 I

2. Course Title (授業題目)：

A study of SONGSHU LIZHI

3. 授業の目的と概要：

中国南朝時代の同時代史料たる沈約『宋書』の礼志を読む。南朝史料に特有の語彙や語法を習得するほか、官僚制度や礼制など、史料読解に必須の事項についての理解を深める。担当者は、担当部分についての訳注を作成して提出の上、その訳注について発表する。その発表内容について、受講者全員で検討を加える。

4. 学習の到達目標：

独特の用語を含んで難解な南朝史料の訳注を作成できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、ガイダンス、『宋書』礼志とはどのような史料か
- 2、『宋書』礼志訳注作成の実例
- 3、『宋書』礼志を読む（1）分道の礼
- 4、『宋書』礼志を読む（2）蔵氷の礼
- 5、『宋書』礼志を読む（3）三公黄閣の制
- 6、『宋書』礼志を読む（4）三国・魏の郊祀
- 7、『宋書』礼志を読む（5）三国・呉の郊祀
- 8、『宋書』礼志を読む（6）三国・蜀の郊祀
- 9、『宋書』礼志を読む（7）魏晋禅譲の礼
- 10、『宋書』礼志を読む（8）西晋の郊祀
- 11、『宋書』礼志を読む（9）東晋の郊祀
- 12、『宋書』礼志を読む（10）晋宋禅譲の礼
- 13、『宋書』礼志を読む（11）劉宋・孝武帝出征の礼
- 14、『宋書』礼志を読む（12）孝建二年（455）の南郊
- 15、授業の総括

6. 成績評価方法：

発表内容 70%、訳注検討への参加状況 30%

7. 教科書および参考書：

教科書：資料を配布する

参考書：授業中に紹介する

8. 授業時間外学習：

訳注作成担当者は、授業時間前に訳注を作成する。担当者以外も、授業で訳注の検討に加わることができるように、あらかじめ授業で読む部分に目を通し、疑問点を整理しておく。

9. その他：

科目名：東洋古代中世史研究演習Ⅱ／ Ancient and Medieval History in Orient(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：川合 安（教授）

講義コード：LM25503， 科目ナンバリング：LHI-HIS643J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

『宋書』礼志の研究Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：

A study of SONGSHU LIZHI

3. 授業の目的と概要：

『宋書』礼志の研究Ⅰの作業を継続するほか、Ⅱにおいては特に南朝における上奏文の形式や、合意形成の方法についての理解を深めつつ、当時の政治、制度、社会の実態究明を行えるようになることを目指す。担当者は、担当部分についての訳注を作成して提出の上、それについて発表する。その発表内容について、受講者全員で検討を加える。さらに、学期後半の授業では訳注作成の成果を踏まえた研究発表を行う。

4. 学習の到達目標：

訳注作成能力を向上させ、学術論文作成の基礎を確立する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、ガイダンス
- 2、『宋書』礼志を読む（1）大明二年（458）の南郊
- 3、『宋書』礼志を読む（2）泰始二年（466）の郊祀をめぐる議論
- 4、『宋書』礼志を読む（3）泰始六年（470）の郊祀・明堂の議論
- 5、『宋書』礼志を読む（4）地祇の祭祀
- 6、『宋書』礼志を読む（5）劉宋初の天地の祭祀に関する上奏
- 7、『宋書』礼志を読む（6）劉宋・孝武帝の明堂祭祀
- 8、『宋書』礼志を読む（7）祭祀の犠牲に関する議論
- 9、『宋書』礼志を読む（8）三国・魏の明帝期の封禪の議論
- 10、『宋書』礼志を読む（9）西晋平呉の際の封禪の議論
- 11、『宋書』礼志を読む（10）西晋・武帝、封禪を行わず
- 12、『宋書』礼志を読む（11）劉宋期における封禪の議論
- 13、『宋書』礼志を読む（12）劉宋・孝武帝、封禪を行わず
- 14、『宋書』礼志を読む（13）三国・魏の宗廟
- 15、授業の総括

6. 成績評価方法：

発表内容70%、訳注検討への参加状況30%

7. 教科書および参考書：

教科書：資料を配布する

参考書：授業中に紹介する

8. 授業時間外学習：

担当者は、訳注や研究発表の資料を事前に準備する。担当者以外も、訳注や研究発表についての検討に参加できるように、あらかじめ授業で読む部分や研究発表資料に目を通して、疑問点などを整理しておく。

9. その他：

『宋書』礼志の研究Ⅰとの連続履修が望ましい。

科目名：東洋近世史特論 I / Early Modern History in Orient (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣（准教授）

講義コード：LM12503， 科目ナンバリング：LHI-HIS644J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国近世史の諸問題 I

2. Course Title (授業題目)：

Issues of the Early Modern China

3. 授業の目的と概要：

近世中国王朝の政治と官僚制度などについての基礎的知識を身につけると同時に、英語文献の読解力を養う。

4. 学習の到達目標：

Paul Heng-chao Ch'en 著” Chinese Legal Tradition under the Mongols” を題材にして、元王朝の法律制度を中心に、近世中国王朝の官僚機構と法律制度について基本的な知識を学ぶ。なお、英語文献を日本語訳をしながら授業を進めるため、事前の翻訳作業と提出が必要となるので注意すること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー
2. 中国近世史の諸問題 Iー (1) 及び行政制度の基礎知識
3. 中国近世史の諸問題 Iー (2) 及び行政制度の基礎知識
4. 中国近世史の諸問題 Iー (3) 及び法律制度の基礎知識
5. 中国近世史の諸問題 Iー (4) 及び法律制度の基礎知識
6. 中国近世史の諸問題 Iー (5) 及び法律制度の基礎知識
7. 中国近世史の諸問題 Iー (6) 及び行政区画の基礎知識
8. 中国近世史の諸問題 Iー (7) 及び行政区画の基礎知識
9. 中国近世史の諸問題 Iー (8) 及び行政区画の基礎知識
10. 中国近世史の諸問題 Iー (9) 及び人事制度の基礎知識
11. 中国近世史の諸問題 Iー (10) 及び人事制度の基礎知識
12. 中国近世史の諸問題 Iー (11) 及び人事制度の基礎知識
13. 中国近世史の諸問題 Iー (12)
14. 中国近世史の諸問題 Iー (13)
15. 中国近世史の諸問題 Iー (14) 及びまとめ

6. 成績評価方法：

レポート。

7. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

8. 授業時間外学習：

毎回、プリントを日本語訳し、また疑問点をまとめてくる必要があり、それを授業中に問う。

9. その他：

科目名：東洋近世史特論Ⅱ／ Early Modern History in Orient(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 5講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣（准教授）

講義コード：LM22504， 科目ナンバリング：LHI-HIS645J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国近世史の諸問題Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：

Issues of the Early Modern China

3. 授業の目的と概要：

近世中国王朝の政治と官僚制度などについての基礎的知識を身につけると同時に、英語文献の読解力を養う。

4. 学習の到達目標：

英語で書かれた中国史に関する学術論文を読みながら、近世中国王朝の官僚機構と法律制度について基本的な知識を学ぶ。なお、英語文献を日本語訳しながら授業を進めるため、事前の翻訳作業と提出が必要となるので注意すること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー
2. 中国近世史の諸問題Ⅰー（1）及び行政制度の基礎知識
3. 中国近世史の諸問題Ⅰー（2）及び行政制度の基礎知識
4. 中国近世史の諸問題Ⅰー（3）及び法律制度の基礎知識
5. 中国近世史の諸問題Ⅰー（4）及び法律制度の基礎知識
6. 中国近世史の諸問題Ⅰー（5）及び法律制度の基礎知識
7. 中国近世史の諸問題Ⅰー（6）及び行政区画の基礎知識
8. 中国近世史の諸問題Ⅰー（7）及び行政区画の基礎知識
9. 中国近世史の諸問題Ⅰー（8）及び行政区画の基礎知識
10. 中国近世史の諸問題Ⅰー（9）及び人事制度の基礎知識
11. 中国近世史の諸問題Ⅰー（10）及び人事制度の基礎知識
12. 中国近世史の諸問題Ⅰー（11）及び人事制度の基礎知識
13. 中国近世史の諸問題Ⅰー（12）
14. 中国近世史の諸問題Ⅰー（13）
15. 中国近世史の諸問題Ⅰー（14）及びまとめ

6. 成績評価方法：

レポート。

7. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

8. 授業時間外学習：

毎回、プリントを日本語訳し、また疑問点をまとめてくる必要があり、それを授業中に問う。

9. その他：

科目名：東洋近世史特論Ⅲ／ Early Modern History in Orient(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：岡 洋樹（兼務教員）

講義コード：LM13403， 科目ナンバリング：LHI-HIS646J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

清朝のモンゴル統治

2. Course Title (授業題目)：

The Qing Dynasty's Rule over the Mongols

3. 授業の目的と概要：

マンジュが建国した清朝（大清国）は、17 世紀から 18 世紀半ばまでにモンゴル遊牧民の大半を支配下に入れ、中国農耕社会と遊牧民社会を統合し、安定した統治を打ち立てた。また清の支配は、ロシアの東進とともに現在に至る東北アジアの政治地図の原型を作ったという意味でも重要な時代である。本講義では、清朝のモンゴル遊牧民統治の成立過程と行政統治の構造や統治手法の特徴を、遊牧民社会の特質にも目を配りつつ考察し、東北アジア地域史におけるその歴史的意義を論じる。

4. 学習の到達目標：

清代のモンゴルについては、東北アジアの遊牧民史上、漢文のみならず、モンゴル文・満洲文の史料が多数残されている。清代は、漢文史料などの隣接地域の史料に依拠しなければならない北元期までとは異なり、遊牧民自身が残した史料を用いてその政治・経済・社会・文化を明らかにすることができるという点で、前近代遊牧民史中特異な時代である。本講義では、これらの史料を用いながら、遊牧民の社会を内在的に理解することを目的とする。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

講義では以下の内容を考察する予定である。

1. イントロダクション：清朝のモンゴル統治と民族語史料

清代モンゴル史研究で用いられる主な史料を紹介し、これまでの研究史を概観する。

2. 清朝のモンゴル統治：統治の構造とその歴史的文脈

3. 清朝のモンゴル統治：いわゆる「封禁政策」をめぐって

4. 清朝のモンゴル統治：清朝皇帝と王公たち

5. 清代モンゴルの歴史認識

6. まとめ：東北アジア史の中の清代モンゴル

6. 成績評価方法：

出席（50%）とレポート（50%）により評価する。

7. 教科書および参考書：

モンゴル史の概説

護雅夫，岡田英弘編『中央ユーラシアの世界』民族の世界史 4、山川出版社、1990 年

宮脇淳子『モンゴルの歴史：遊牧民の誕生からモンゴル国まで』刀水書房、2002 年

島田正郎『北方ユーラシア法系通史』創文社、1995 年

清代の概説

岡田英弘，神田信夫，松村潤『紫禁城の栄光：明・清全史』講談社（講談社学術文庫）2006 年

石橋崇雄『大清帝国への道』講談社学術文庫、2011 年

清代モンゴル史の研究文献

田山茂『清代に於ける蒙古の社会制度』文京書院、1954 年

萩原守『清代モンゴルの裁判と裁判文書』創文社、2006 年

岡洋樹『清代モンゴル盟旗制度の研究』東方書店、2007 年

そのほか

森川哲雄『モンゴル年代記』白帝社、2007 年

8. 授業時間外学習：

講義に臨み、上記参考書などにより、北アジア遊牧民史についての基本的な知識を得ておくこと。

9. その他：

科目名：東洋近世史特論Ⅳ／ Early Modern History in Orient(Advanced Lecture)Ⅳ

曜日・講時：後期集中

学期：集中（2学期）、単位数：2

担当教員：井上 徹（非常勤講師）

講義コード：LM98821、科目ナンバリング：LHI-HIS647J、使用言語：日本語

1. 授業題目：

明清時代の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

The Problem of Orthodoxy in Late Imperial China

3. 授業の目的と概要：

明代の広東は多民族・多文化が混在する辺境地帯であったが、明末清初までの間に漢族の儒教文化を中核とする一元的な社会へと変貌したこと（儒教化）を、宗族という男系血縁集団の動向を基点として、ヤオ族・チワン族などの少数民族、都市化・商業化、王朝の政策、郷紳など多様な観点から明らかにする。儒教化の際だった特色は、多様な産業をめぐって激化した争奪戦のなかで、郷紳を送り出して親族の結合を強め、科挙官僚制を通じて国家と連携したことが競争に生き延びる最大の方策となった点であり、この競争に勝利した宗族は郷紳を抱える有力宗族（官族）へと上昇を遂げた。デルタ社会の多くの家族がそうした競争、生き残り策の潮流のなかに巻き込まれていったことにより、珠江デルタは中国社会のなかでもとりわけ宗族の普及度が高く、組織が整備された地域となった。

4. 学習の到達目標：

明清時代における地域固有の社会構造を解き明かす分析の方法を習得すること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- ① ガイダンス
- ② 宗族分析の視角
- ③ 宗族研究の現状
- ④ 明朝の対外政策と両広社会
- ⑤ 民族反乱の勃発
- ⑥ 「華」はどのように「夷」を包摂したか？
- ⑦ 明朝の州県管理
- ⑧ 中国近世の都市と礼の威力
- ⑨ 石頭霍氏—広東の郷紳の家—
- ⑩ 霍氏と珠璣巷伝説
- ⑪ 霍韜による宗法システムの構築
- ⑫ 明末の商税徴収と広東社会
- ⑬ 明末の都市広州の搶米暴動と救済
- ⑭ 珠江デルタの郷紳と宗族
- ⑮ 総括と試験

6. 成績評価方法：

平常点（30％） 試験（70％）

7. 教科書および参考書：

教科書：プリント配布

8. 授業時間外学習：

授業で紹介した論文、史料を精読すること

9. その他：

科目名：東洋近世史特論Ⅳ／ Early Modern History in Orient(Advanced Lecture)Ⅳ

曜日・講時：後期集中

学期：集中（2学期）、単位数：2

担当教員：徳永 洋介（非常勤講師）

講義コード：LM98822、科目ナンバリング：LHI-HIS647J、使用言語：日本語

1. 授業題目：

唐宋時代の法と刑罰

2. Course Title (授業題目)：

Law and Punishment in China under the Tang-Song period

3. 授業の目的と概要：

唐朝が創りあげた精緻な官制や刑法の体系は、しばしば「律令体制」とも呼ばれ、わが国をはじめ、同時代の東アジア諸国家にも絶大な影響を及ぼした。八世紀なかばに集成された『六典』はこうした唐制の偉容を高らかに謳いあげるものであったが、ほどなく起きた安史の乱を経て、理念と現実の乖離は深刻の度を深めていった。その一方で、唐後半から南宋滅亡までの五百余年にわたる政治的な南北分断のなかで、つねに根幹的な法的権威を保ち機能していたのが唐の律や『六典』であった事は注意されねばならない。換言すれば、唐宋時代を通じて、唐制の骨組みは形骸化しながらも、新しい社会の実情に対応して、つねに再編されつづけていたのである。

4. 学習の到達目標：

唐宋時代の法と刑罰のあり方を通じて、「律令体制」なる言葉の虚実を把握するとともに、現代中国でもますます先鋭化している法と社会の関わりについても理解を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- ①漢律から唐律へー基本法典の成立ー
- ②律令格式の編纂ー唐代の副次法典ー
- ③刑統の時代ー律令法系の変容ー
- ④編勅から勅令格式へー宋代の副次法典ー
- ⑤用例破法と因例立法ー法の修正・追加の構造ー
- ⑥正刑と閏刑ー唐律の刑罰体系ー
- ⑦配流と左降ー律外の刑罰（1）ー
- ⑧杖殺刑の登場ー律外の刑罰（2）ー
- ⑨折杖法の成立ー五代濫刑の終焉ー
- ⑩配役と編配ー強制労働と強制移住ー
- ⑪神宗朝の刑法改革論ー『六典』的世界の再構築ー
- ⑫圜土と拘鎖ー拘禁装置の多様化ー
- ⑬景迹と警跡ー隔離と監視ー
- ⑭唐律から明律へー近世後期の中国法ー
- ⑮まとめと展望、筆記試験

6. 成績評価方法：

講義の最後に行う筆記試験（70%）と平常点（30%）とを合わせて評価する。

7. 教科書および参考書：

必要な資料はプリントで配布する。

8. 授業時間外学習：

配布資料は事前に精読するとともに、講義中に紹介した参考文献には必ず目を通しておくこと。

9. その他：

科目名：東洋近世史研究演習 I / Early Modern History in Orient (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣（准教授）

講義コード：LM13507， 科目ナンバリング：LHI-HIS648J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

明清官僚制度研究 I

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Bureaucracy in the Ming, Qing Dynasty

3. 授業の目的と概要：

明清時代の史料を通して、政治制度、官僚制度などの課題探究のために必須となる文書読解の訓練を行い、その基礎知識を習得する。

4. 学習の到達目標：

中国明清時代の一次史料読解を通じて、政治制度、官僚制度研究に必須となる公文書の基本形式に慣れると同時に、当時の官僚制と社会について分析を加える。特に各回の担当者を決めず、全員が毎回発表する（日本語訳でも訓読でもかまわない）。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー
2. 明清官僚制度研究 I ー (1)
3. 明清官僚制度研究 I ー (2)
4. 明清官僚制度研究 I ー (3)
5. 明清官僚制度研究 I ー (4)
6. 明清官僚制度研究 I ー (5)
7. 明清官僚制度研究 I ー (6)
8. 明清官僚制度研究 I ー (7)
9. 明清官僚制度研究 I ー (8)
10. 明清官僚制度研究 I ー (9)
11. 明清官僚制度研究 I ー (10)
12. 明清官僚制度研究 I ー (11)
13. 明清官僚制度研究 I ー (12)
14. 明清官僚制度研究 I ー (13)
15. 明清官僚制度研究 I ー (14) 及びまとめ

6. 成績評価方法：

発表内容（平常点）。

7. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

8. 授業時間外学習：

毎回、テキストを日本語訳し、内容について調べて授業にのぞむ必要がある。

9. その他：

科目名：東洋近世史研究演習Ⅱ／ Early Modern History in Orient(Advanced Seminar)II

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣（准教授）

講義コード：LM23507， 科目ナンバリング：LHI-HIS649J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

明清官僚制度研究Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Bureaucracy in the Ming, Qing Dynasty

3. 授業の目的と概要：

明清時代の史料を通して、政治制度、官僚制度などの課題探究のために必須となる文書読解の訓練を行い、その基礎知識を習得する。

4. 学習の到達目標：

Iに引き続き、中国明清時代の一次史料読解を通じて、政治制度、官僚制度研究に必須となる公文書の基本形式に慣れると同時に、当時の官僚制と社会について分析を加える。特に各回の担当者を決めず、全員が毎回発表する（日本語訳でも訓読でもかまわない）。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー
2. 明清官僚制度研究Ⅱー（1）
3. 明清官僚制度研究Ⅱー（2）
4. 明清官僚制度研究Ⅱー（3）
5. 明清官僚制度研究Ⅱー（4）
6. 明清官僚制度研究Ⅱー（5）
7. 明清官僚制度研究Ⅱー（6）
8. 明清官僚制度研究Ⅱー（7）
9. 明清官僚制度研究Ⅱー（8）
10. 明清官僚制度研究Ⅱー（9）
11. 明清官僚制度研究Ⅱー（10）
12. 明清官僚制度研究Ⅱー（11）
13. 明清官僚制度研究Ⅱー（12）
14. 明清官僚制度研究Ⅱー（13）
15. 明清官僚制度研究Ⅱー（14）及びまとめ

6. 成績評価方法：

発表内容（平常点）。

7. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

8. 授業時間外学習：

毎回、テキストを日本語訳し、内容について調べて授業にのぞむ必要がある。

9. その他：